

## プロジェクト学習(臨床実践への統合-国際看護)-シラバス

科目名 (副題)	臨床実践への統合 (国際看護)					
主講師 (ファシリテータ・協力者)	夏原和美 (鈴木敏恵)					
単位・時間・受講対象	1 単位・15 時間 (講義科目) ・4 年次春					
概要 (社会的意義)	Covid-19 対応をテーマに【対象者の文化的権利を守った看護を提供できる国際看護師になろう!】プロジェクトを行います。提案集ができて同級生や看護職の目に触れることは、彼らを通して Health for all の達成への一助となります。同時に SDGs の「誰一人取り残さない」の実現のため、看護職が取り組まなければならないことへの気づきのきっかけとなります。					
キーワード	感染症、スティグマ、人権の尊重、文化的権利、生活習慣、プライマリ・ヘルスケア					
目的・身につく力	<b>専門知</b> <input type="checkbox"/> 個別な価値観・信条や生活背景を持つ人の理解、人の尊厳及び人権の意味を理解し擁護する行動、利用者の意思決定を支える援助、健康の危機的状況にある人への援助			<b>普遍知</b> <input type="checkbox"/> 自分の世界観とは異なる見方や考え方を持つとうとし、それにより異文化や多様な考えに共感を示すことができるイメージ力、リサーチ力、課題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力、相互コーチング力		
プロジェクト学習の Vision と Goal	ビジョン (願い) : 誰ひとり取り残さない、をプライマリ・ヘルスケアの考えを通して実現する			ゴール (具体的な目標) : ”その人” の健康を改善するための最適行動を提案する! (ミッション: SDGs の精神を軸に、”その人” の健康を阻害する状況を回避させる)		
科目の到達目標	1. 世界の人々がより健康に生きるための提案集を作ることができる。 サブテーマは COVID-19 「○○○の A さんが□□□の方法を提案します!」 ○: A さん、その人の特徴 □: 課題を解決する、問題が起きないようにするための内容					
看護学部 DP との関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 生命と自然に対する畏敬の念と人間の営みについての理解の礎となる教養を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 倫理観・責任感をもち、他者との信頼関係を築き協働できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 生命・生活・人生を支える看護を実践し、社会に貢献するための専門的知識・技能を有している <input checked="" type="checkbox"/> 4. 探究心を持ち、主体的に研鑽を積むことができる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 異なる文化や多様な考えを尊重した行動がとれる					
学習の成果物 (共通ゴール)	全ての人々が新型コロナ感染症で宿泊療養対応される場面で尊厳を守られて過ごせるための提案集 (共通)					
評価方法	ポートフォリオ 70%、参加状況評価 30%					
実施計画 月 日 ~ 月 日	4/30 プロジェクト 学習について 理解する	5/10 R10 シート作成 計画	5/17 プレゼン 素案	5/28 プレゼン 再構築	6/1 プレゼン 本番	6/1 成長確認
	ゴールシート作成	情報・解決策	制作	再構築	再構築	
講義室・場所	Google classroom と Zoom 等、登校時は 214 ゼミ室					
1 限 9:00-9:50	回	日 時	場所	内容		
2 限	1-4	4月30日 (土)	zoom	プロジェクト学習の進め方 授業:		

<p>10:00-10:50 3限 11:00-11:50 4限 12:00-12:50 5限 13:00-13:50 6限 14:00-14:50 7限 15:00-15:50 8限 16:00-16:50 9限 17:00-17:50 10限 18:00-18:50</p>	<p>1-4限 (9:00-12:50)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パーソナルポートフォリオを使った自己紹介</li> <li>・ シラバス、プロジェクト学習について説明</li> <li>・ 感染症に罹患した人が尊厳を損なわれる可能性について、どんな人が？どんな場面で？どんな風に？について、意見交換する。感染症は新型コロナに限らず、世界中から、昔の事例でも良い。</li> <li>・ 準備した資料を使って対象者を決定</li> </ul> <p><u>事後課題：</u> 自分が興味をもった対象者のAさんがCOVID-19の宿泊療養対応で、生命の安全が脅かされることは何か、生活面で変容を余儀なくされることは何か、今後の人生にも影響が出る可能性があることは何か、を想像しながら情報を集める。特に、その人の状況や文化的背景、宿泊療養のためのホテルでの生活上の制限などに注意しながら、以下の情報を集めておこう（資料A_p7）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 対象について、いま自分が知っていること、感じていること、願い</li> <li><input type="checkbox"/> 対象について、の情報（知識/インターネット：データ・論文など）</li> <li><input type="checkbox"/> 対象について、現実から得た情報（現状の写真、観察・記録メモ、データなど）</li> <li><input type="checkbox"/> 対象について、多様な立場の人の見方、考え方をインタビューしたもの</li> <li><input type="checkbox"/> 対象について、「意味」や「社会的価値、課題」を自分ごととして書き出したもの</li> <li><input type="checkbox"/> 対象について、「意味」や「価値」「課題」を自分ごととして書き出したもの</li> </ul> <p>用意するもの：もとポートフォリオ用のクリアポケットファイル、ゴールシート</p>
	<p>5&amp;6 5月10日 (火) 5-6限</p>	<p>zoom</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aさんの生活が、宿泊療養対応によって受ける影響</li> <li>・ Goalにたどり着くためにすべきことをイメージする</li> </ul> <p><u>授業：</u>課題について共有しながらディスカッション <u>課題：</u>（授業で説明します）</p> <p>ゴールシート Aさんの全身像 R10シート 工程表</p> <p><u>R10シート</u> ★項目について、根拠ある（独りよがりでない）説明をするために必要な情報を、いつ、どこで、何から、どのようにして集めるかを計画し、実行する ★「現状はどんなの？」 ★「どうなったらいいの？」（ありたい状態） ★「どうやったらそうなるの（現状とありたい状態の差を解決するための具体的な方法は）？」 ・ 優先順位とそれに使う時間を配分しながら、戦略的な計画を立て、実行する プレゼンテーション用に①～⑥をA3シート1枚にまとめる準備 ①現状のまとめ、②課題、③課題が解決された状態、④課題を解決する（現状と理想のGapを埋める）ための国際看</p>

			<p>護師としての具体的な行動に関する提案、⑤成果、⑥出典</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不足している情報はないか？</li> <li>・情報の比較、分類を通して情報の持つ意味を分析する</li> </ul> <p><u>事後課題</u>：提案書素案 A3 用紙 1 枚の資料作成</p>
7&8	5月17日 (火) 5-6限	zoom	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション素案発表</li> <li>・知恵を出し合う</li> </ul> <p><u>授業</u>：1人7分でプレゼンテーション3分ディスカッションの練習後、提案内容をもっと良くするためにはどうしたらよいか、について全体ディスカッション。発表をもとに、根拠ある情報や解決策を獲得するための知恵を出し合う（例えばお互いに対象者役になってロールプレイングする）</p> <p><u>事後課題</u>：ディスカッションを参考にして提案内容を再構築し、凝縮ポートフォリオ（提案書）を完成させる</p>
9&10	5月28日 (土) 5-6限	zoom	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再構築した提案書のプレゼンテーション</li> <li>・完成に近づける</li> </ul> <p><u>授業</u>：1人7分でプレゼンテーション3分ディスカッションの練習後、提案内容をもっと良くするためにはどうしたらよいか、について全体ディスカッション2回目</p>
11 & 12	6月11日 (土) 2-3限	zoom	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再構築した提案書のプレゼンテーション</li> <li>・完成に近づける</li> </ul> <p><u>授業</u>：1人7分でプレゼンテーション3分ディスカッションの練習後、提案内容をもっと良くするためにはどうしたらよいか、について全体ディスカッション</p> <p><u>事後課題</u>： 成長報告書 凝縮ポートフォリオ完成</p>
13 & 14	6月25日 (土) 2-3限	zoom	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション</li> </ul> <p><u>授業</u>：プレゼンテーション本番 成長報告書の共有</p>
テキスト・参考図書	鈴木敏恵「プロジェクト学習の基本と手法―課題解決力と論理的思考力が身につく」教育出版 2012		
履修要件	特になし		
他講義との関連	国際看護学、国際看護学演習の学びの応用になります。統合実習でのプレゼンテーション準備に役立ちます。		
受講生へのメッセージ	凝縮ポートフォリオは学生同士でピア評価のほか、なるべく現場の看護職の方々にも見ていただき、再構築したものを最終評価の対象とします。そのほかに、自己評価として成長報告書を提出してもらいます。		
プロジェクト学習 e ラーニング	全過程に渡り、オンライン学習を中心に進めます。定期的にメール、Google classroom をチェックしてください。		